

# 令和4年度 熊本市手をつなぐ育成会事業計画

## ◎基本方針

新型コロナウイルスの新たな変異株による感染拡大で、研修会をはじめ、本人活動『つなごう会』や学校部会、成人部会などの活動や各事業所の行事などは、今年度も大きな制約が続くことを前提に、開催方法などを考えながら計画を立てていかなければならない。

昨年9月、オンラインも併用して開催した定期大会において、育成会中長期プラン策定したことを会員みなさまに報告したが、その後も継続している就業規則等リニューアル検討会や、法人運営会議の中で中長期プランの進捗状況の確認をし、今後も修正を行っていくこととしている。

コロナ対策で、これまでしょうぶの里に集合して研修を行っていた職員研修も、各事業所をオンライン拠点として職場の違う職員が拠点に集合し、3か所に分かれての会議開催を行うことができたので、このように柔軟な対応もしていきながら職員研修も続けていきたいと考えている。

運動体においては、昨年度計画していた研修会などが実施できず、今年度に持ち越しとなっている。昨年秋に実施した育成会からの情報提供に関する会員へのアンケートでは、文書での情報提供を希望する方が圧倒的に多いことが分かったので、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、zoomなどのオンライン会議システムや、SNS（ソーシャルネットワークシステム）などを活用した情報の受け取り方の研修会の開催も計画したい。今後も新型コロナウイルスの感染状況が見えない状態が続くと予想され、基本的に対面での活動を大事にしながら、オンラインの活用も含めて研修などの開催もしていきたい。

## 【重点課題】

### 1. 中長期プランを基にした実現に向けた取り組み

- (1) SNS を活用した研修の実践
- (2) 次世代を担う職員の育成のための研修や人事交流の実施
- (3) 重度化、高齢化に対応するグループホーム建設の研究、検討（継続）
- (4) 障がい児やその家族を支える事業の検討（継続）

## 2. 育成会活動の課題と活性化に向けた具体的方策の実行

### (1) 集合式研修とオンライン研修を合体させた研修

#### ① 学齢期世代の親御さん向け

- ・療育懇談会、学校卒業後の未来の見える研修会の継続・拡大
- ・Twitter や Facebook、LINE などの SNS を使った個別相談会の実施

#### ② 高齢親子向け

- ・親亡き後を親あるうちに考えるための研修会の実施

#### ③ 本人向け

- ・本人活動『つなごう会』のコロナウィルス感染状況に合わせた実施

#### ④ 会員のための福利厚生としての育成会の保険の情報提供

### (2) 家族や本人を支えるための活動の充実（継続）

- ・会員対応を迅速に行うためのネットワークづくり
- ・育成会活動の協力者となる人材の発掘
- ・行政、教育機関との意見交換会を通じて信頼強化、要望実現に向けた取り組み
- ・月例座談会「先輩教えて(学校部)」「ちょっと聞いてよ(成人部)」に加え、出張型座談会の実施

## 3. 育成会活動の理解拡大

- ・知的障がいを知ってもらうための疑似体験ワークショップの開催
- ・全国育成会機関誌「手つなぐ」の会員への購読推進と活用の取り組み
- ・市育成会広報紙「くまもと手をつなぐ」の発刊（3回）、各種情報の提供
- ・ホームページや SNS を活用した情報発信と充実

## 4. 利用者を支える職員を支える

- ・職員合同研修会の実施と充実（1回）
- ・職員間の職場体験交流等の実施
- ・人事異動の実施